

# 環境経営レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月

A M工業株式会社

発行日 2024年5月2日

改定日 2024年5月30日

## 目次

1.組織の概要及び認証・登録の対象範囲	1~4
2.実施体制	5
3.環境経営方針	6
4.環境経営目標	7
5.環境経営計画	8
6.環境経営目標の実績	9
7.環境経営計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容	10
8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	11
9. 代表者の全体評価と見直し・指示	12

## 1.組織の概要及び認証・登録の対象範囲

### (1)事業者名および代表者名

AM工業株式会社  
代表取締役 水谷 光利

### (2)所在地

本社 〒454-0046 愛知県名古屋市中川区神郷町2-17  
登記のみ  
清須工場 〒452-0962 愛知県清須市春日江先39番地  
本社機能を持つ

### (3)環境管理責任者及び連絡先

責任者 水谷 光利  
連絡先 052-982-9477  
E-mail [am@am-kogyo.com](mailto:am@am-kogyo.com)

### (4)事業内容

産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業  
産業廃棄物処分業(中間処理)  
貴金属・非鉄金属の回収、販売  
古物の売買(古物商許可：第542551202600)

### (5) 事業規模

設立 2009年4月20日  
資本金 1,300万円  
売上高 11,494万円 (事業年度：2023年4月～2024年3月)  
従業員 3名  
延べ床面積 床面積 328.5㎡  
総面積 561㎡

### (6) 認証・登録の対象範囲

対象範囲 AM工業株式会社 清須工場  
対象活動 事業内容と同じ

### (7)受託した産業廃棄物処理量

単位：t

年度	産業廃棄物収集 運搬量	(内)特別管理産業廃 棄物収集運搬量	産業廃棄物処分量 (中間処理)
2023年度	1369.81	859.86	383.99

(8) 運搬車両の種類と台数

車両登録番号	車種
尾張小牧 せ 2958	2tアルミBOXトラック
尾張小牧 せ 2700	3tアルミBOXトラック
張小牧 100 は 29	大型アームロール車

(9) 許可内容

**産業廃棄物収集運搬許可**

許可	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
愛知県	2310160629	2021年10月21日	2028年7月5日
岐阜県	2100160629	2024年3月18日	2031年3月17日
三重県	2400160629	2024年3月31日	2031年3月30日
静岡県	2201160629	2022年8月8日	2029年8月7日

特別管理産業廃棄物収集運搬業

許可	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
愛知県	2360160629	2021年10月21日	2028年7月5日
岐阜県	2150160629	2024年3月19日	2031年3月17日
三重県	2450160629	2024年3月31日	2031年3月30日

産業廃棄物	汚泥	廃酸	廃アルカリ	プラスチック	金属くず	ガラスくず等	がれき類	木くず	紙屑	繊維くず	廃油	
愛知県(中間処理)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
愛知県(収集運搬)	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	
三重県(収集運搬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岐阜県(収集運搬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
静岡県(収集運搬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎ 積替え保管あり

特別管理産業廃棄物	引火性廃棄物	感染性廃棄物	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	特定有害廃油	特定有害汚泥	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ				
愛知県(収集運搬)	○	◎	○	○	○	○	○	○				
三重県(収集運搬)	○	○	○	○	○	○	○	○				
岐阜県(収集運搬)	○	○	○	○	○	○	○	○				

自動車破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。 ◎ 積替え保管あり

水銀使用製品産業廃棄物を除く。

積替え保管場所 清須市春日江崎39番地

保管面積 12.66㎡(産業廃棄物) 14.77㎡(特別管理産業廃棄物)

保管上限 12.8㎡(産業廃棄物) 15.68㎡(特別管理産業廃棄物)

**産業廃棄物処分量**

許可	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
愛知県	2320160629	2019年9月10日	2024年7月8日

産業廃棄物の種類

ア 圧縮 処理能力 2.56 t /日

廃プラスチック類(自動車盗破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)

以上1品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く)

イ 選別 処理能力 22.32㎡/日

廃プラスチック類(自動車盗破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)

紙屑、木くず、繊維くず、金属くず(自動車破砕物を除く)

ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず(自動車盗破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)

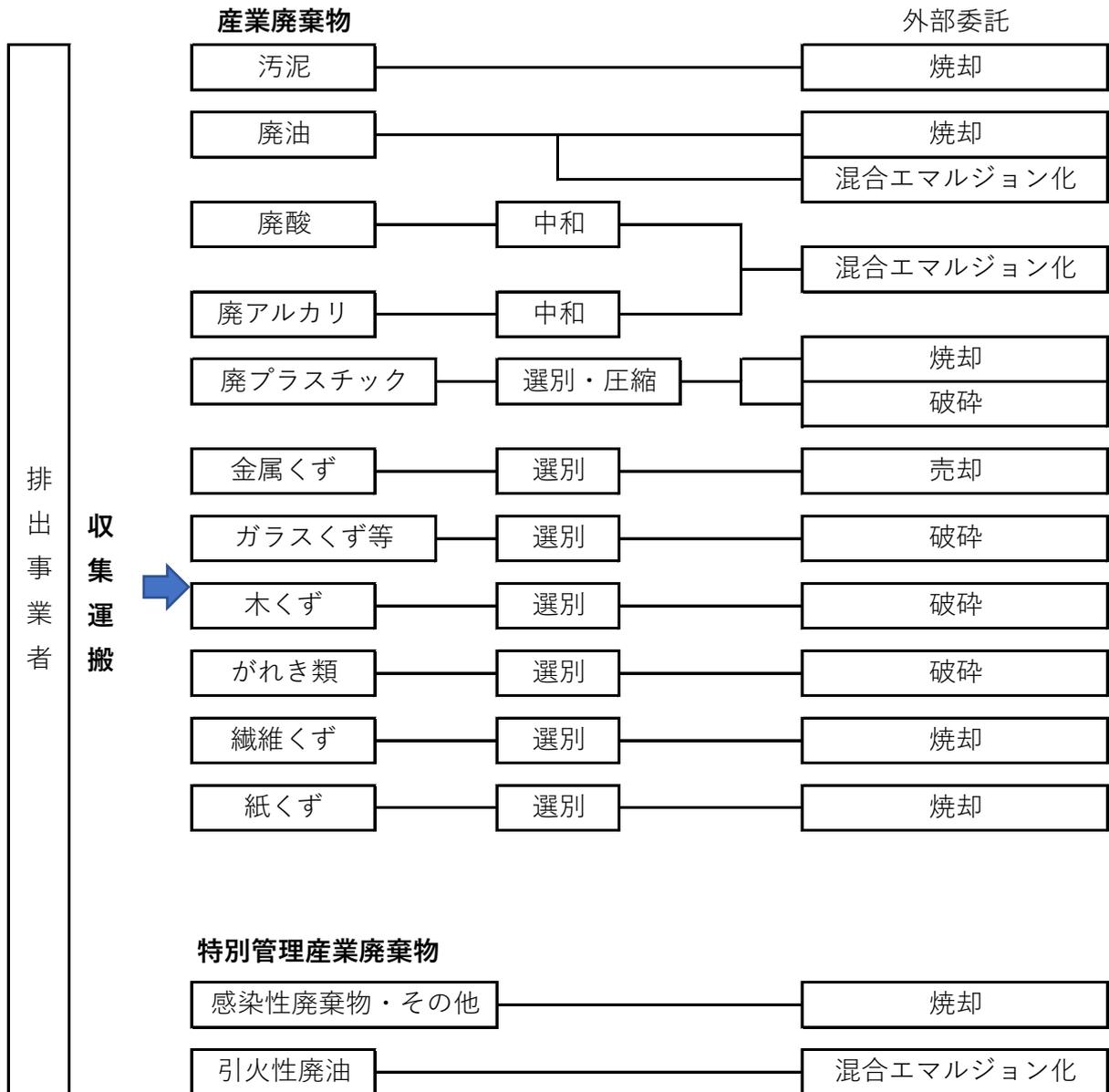
以上7品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く)

ウ 中和 処理能力 6.48㎡/日

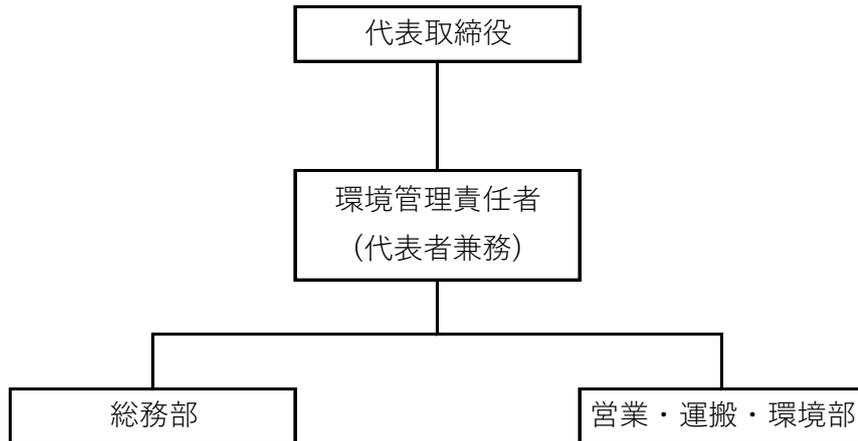
廃酸(水銀含有ばいじん等を除く)廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く)

以上2品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く)

(10)処理工程



## 2.実施体制



役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の策定、見直し及び従業員への周知</li> <li>・実施体制の構築</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・資源(人員、設備、費用等)の準備</li> <li>・全体の評価と見直し</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、運用しその状況を代表者に報告</li> <li>・外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果の記録</li> <li>・環境経営レポートの作成</li> <li>・書類の作成・管理</li> <li>・環境経営目標及び環境経営計画の実施状況の確認</li> <li>・従業員への教育</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境取り組みの重要性の自覚</li> <li>・環境負荷削減のための取り組みの実践</li> </ul>

### 3.環境経営方針

#### 《基本理念》

私ども、AM工業株式会社は産業廃棄物処理及び貴金属等の回収・販売のエキスパートとして地球環境の保全が社会共通の重要課題の1つであることを認識し、事業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮し、活動します。

#### 《行動指針》

- I.事業活動の実態行動を把握しして、環境負荷の低減のための目標を設定し、その活動システムを構築し、継続的に改善をしていきます。
- II.継続的な改善テーマとして以下の7項目について重点的に取り組んでいきます。
  - 1.環境関連法規制及びその他の合意事項を遵守します。
  - 2.CO2排出量を削減するため電力使用量や軽油、ガソリンの使用量削減を推進します。
  - 3.水使用量を削減するため、節水に努めます。
  - 4.発生する廃棄物は、減量化及びリサイクルを推進します。
  - 5.環境配慮した製品・サービスの提供に努めます。
  - 6.地域貢献活動を積極的に推進します。
  - 7.この方針を全従業員に対し、教育訓練及び日常の活動を通じて周知、徹底させるとともに、お取引先及び協力関係先にも理解と協力を求めています。

制定：2019年8月1日

改定：2021年7月1日

AM工業株式会社  
代表取締役 水谷 光利

#### 4.環境経営目標

環境目標	単位	2018年度 (基準年)と (削減率)	2023年度 (2023/4~ 2024/3)	2024年度 (2024/4~ 2025/3)	2025年度 (2025/4~ 2026/3)
二酸化炭素排出量 の削減	k g -CO <sub>2</sub>	(削減率) 27,236	7.3% 25,243	9.1% 24,972	9.3% 24,700
電力使用量の削減	ℓ	(削減率) 8,903	20% 7,122	21% 7,033	22% 6,944
軽油使用量の削減	ℓ	(削減率) 7,651	5% 7,268	6% 7,192	7% 7,115
ガソリン使用量の 削減	ℓ	(削減率) 1,420	5% 1,349	6% 1,335	7% 1,321
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	(削減率) 37	5% 35.2	6% 34.8	7% 34.4
一般廃棄物輩出量 の削減	k g	(削減率) 41	5% 39.0	6% 38.5	7% 38.1
産業廃棄物(廃液)の 資源化率	%	100	100	100	100
環境法令の収集及 び客先への提供	—	—	積極的に実施	積極的に実施	積極的に実施
清掃活動の実施	回数/月	記録なし	4	4	4

※電力の二酸化炭素排出係数は中部電力ミライズ2017年度の0.472 k g - C O 2 / k W h  
を使用。

※化学物質の保管はあるがPRTR法に該当する化学物質の使用はないので適正管理とする。

※一般廃棄物の基準値は2020年度実績とする。

※産業廃棄物(廃液)の資源化率(排出量/回収量) は中間処理後の廃液処理を混合  
エマルジョン化(委託)後販売。

※ガソリン使用量は実態に合わせ、2022年度実績を基準とした。

※電気使用量は大幅削減されているので、実態に合わせ削減率を大幅増加する。

## 5.環境経営計画

### 二酸化炭素排出量の削減

責任者：水谷

取組項目	活動項目
電気使用量の削減	冷暖房管理の徹底(冷房28°C、暖房20°C)
	空調機フィルターの定期的な清掃
	昼休み時の消灯
	長時間席を離れる時のPC電源OFF
軽油・ガソリン使用量の削減	省エネ運転の励行
	不要なアイドリングをしない
	配車計画の合理化
	急発進・急ブレーキ・急加速の軽減

### 水使用量の削減

取組項目	活動項目
水使用量の削減	細かい節水に努める
	使用後は必ず栓を止める
	節水表示
	水漏れ点検実施

### 廃棄物排出量の削減

取組項目	活動項目
一般廃棄物排出量の削減	計量の実施
	裏紙使用
産業廃棄物(廃液)の資源化	廃液量の管理と委託先の管理

### 環境配慮

取組項目	活動項目
環境法令の収集及び客先への提供	情報収集の徹底
	積極的に客先への提供
	埋立廃棄物の削減

### 化学物質管理

取組項目	活動項目
化学物質の安全管理	施錠と月1回の確認

## 6.環境経営目標の実績

環境目標	単位	2023年度 目標	2023年度 実績	達成度	評価
二酸化炭素排出量 の削減	k g -CO2	25,243	22,051	114%	○
電力使用量の削減	KWH	7,122	6,096	117%	○
軽油使用量の削減	ℓ	7,268	6,409	113%	○
ガソリン使用量の 削減	ℓ	1349	1,136	119%	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	35.2	24	147%	○
一般廃棄物輩出量 の削減	k g	39.0	25	156%	○
産業廃棄物(廃液)の 資源化率	%	100	100	100%	○
環境法令の収集及 び客先への提供	—	積極的に実施	実施	実施	○
清掃活動の実施	回数/月	4	4	100%	○

※ ○100%以上、△90%以上、×90%未満

## 7.環境経営計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

活動項目	実施 状況	次年度	評価結果と今後の取り組み 予定
<b>&lt;電力&gt;</b>			
冷暖房管理の徹底(冷房28°C、暖房20°C)	○	継続	省エネ取組で電力の削減は 順調に出来ている 今後も節電に努めていく
空調機フィルターの定期的な清掃	○	継続	
昼休み時の消灯	○	継続	
長時間席を離れる時のPC電源OFF	○	継続	
<b>&lt;燃料&gt;</b>			
省エネ運転の励行	○	継続	エコ運転と配車計画の合理化で 軽油使用量もガソリン使用量も 削減出来た 次年度も継続して取り組む
不要なアイドリングをしない	○	継続	
配車計画の合理化	○	継続	
急発進・急ブレーキ・急加速の軽減	○	継続	
<b>&lt;水&gt;</b>			
細かい節水に努める	○	継続	普段から節水に努めているの で大幅な削減が出来た 水漏れには注意し更なる 削減に努める
使用後は必ず栓を止める	○	継続	
節水表示	○	継続	
水漏れ点検実施	○	継続	
<b>&lt;一般廃棄物&gt;</b>			
計量の実施	○	継続	紙の有効活用で大幅に削減 今後も継続的に取り組む
裏紙使用	○	継続	
<b>&lt;産業廃棄物(廃液)&gt;</b>			
廃液量の管理と委託先の管理	○	継続	委託先には、自分が行くこと が多いので毎回見て確認する
<b>&lt;環境配慮&gt;</b>			
情報収集の徹底	○	継続	廃プラのリサイクルを増加し 埋立廃棄物を削減する 熱回収出来る委託先に変更
積極的に客先への提供	○	継続	
埋立廃棄物の削減	○	継続	
<b>&lt;化学物質&gt;</b>			
施錠と月1回の確認	○	継続	今後とも、継続していく

○：実施 △：不十分 ×：未実施

## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

見直・遵守評価：2024年3月31日

法規制等の名称	適用する要求事項	遵守評価	
		確認方法	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理(許可処分業者への委託)	委託契約書	○
	廃棄物管理票の交付と交付と管理	マニフェスト	○
	産業廃棄物(収集運搬基準、処分基準)の遵守	基準と比較	○
	産業廃棄物保管基準の遵守(看板表示内容、流出・		
	浸透・混入防止、保管上限量)		
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	管理票等交付状況報告、産業廃棄物処分実績報告	年次報告書	○
	委託先の確認(1回以上/年)	確認	○
水質汚濁防止法	特定施設の届け出(電気分解施設・有害物質貯蔵施設)	届出書	○
	設置場所の亀裂の有無の目視検査	点検記録	○
	事故時の浸透防止応急措置、事故時の届け出	事故無し	○
浄化槽法	保守、点検、清掃の実施(1回/3ヵ月)	記録	○
	法定検査実施(年1回)	記録	○
毒物及び劇物取締法	盗難防止策及び定期点検、管理	記録	○
県民の生活環境保全等	アイドリングストップ	日常管理	○
家電リサイクル法	使用済み特定家電の適正処理	リサイクル料金	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の取引業者への引き渡し	リサイクル料金	—

上記の環境関連法規等の取りまとめ表に基づき遵守できていることを確認しました。

また、関係当局からの違反・訴訟等は過去から発生していません。

## 9.代表者の全体評価と見直し・指示

2024年5月2日  
代表者 水谷 光利

### 見直しに用いた情報

	項目	評価・コメント
1	目標の達成状況	全ての項目で目標達成出来た。 今後とも継続目標達成に努める。
2	環境活動計画の実施及び運用結果	計画通り、行動・実施出来ている。 結果期待した成果にも繋がった。 今後も、継続して行く。
3	環境法令の遵守結果	出来ている。
4	外部からの環境に関する苦情や要望	外部からのクレーム・要望とかは、 期間中は、有りませんでした。
5	前回の改善事項への取り組み結果	電気使用量の大幅削減に関しては、 目標値の見直しを実施した。

### 変更の必要性

	項目	変更の必要性		内容
		有	無	
1	環境経営方針		○	
2	環境経営目標		○	
3	環境経営計画		○	
4	環境経営システム		○	

### 総括：評価及び指示事項

電力使用量とガソリン使用量の削減目標を実態に合わせ再設定したことにより、全ての環境目標で無理なく目標達成が出来た。この活動を今後とも継続取組、環境経営に努めて行く。